



2022年10月31日

各位

会社名 nms ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 文明
 (コード: 2162 東証スタンダード)
 問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子
 (TEL: 03-5333-1711 (代表))

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年9月13日公表の2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 36,100	百万円 △270	百万円 310	百万円 50	円 銭 3.22
今回修正予想(B)	35,800	△235	425	125	8.04
増減額(B-A)	△300	35	115	75	
増減率(%)	△0.8%	—	37.1%	150.0%	
(ご参考)前第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期累計)	30,430	△237	51	△282	△16.89

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、中国ロックダウンによる稼働影響や部品・部材価格の高騰、物流コスト上昇等の影響を受けた一方、売上確保に向けた取り組みと、抜本的基盤強化策の実行を着実に進めており、上半期に見込んでいた需要の一部が下半期にずれ込んだものの、営業利益は前回発表に対し改善する見込みです。

経常利益も、営業利益の改善に加え、想定を超える円安加速により、9月13日公表の為替差益計上見込額750百万円を上回る828百万円を計上する見通しであり、四半期純利益についても、営業利益、経常利益の改善により、前回発表予想を大幅に上回る見込みです。

2023年3月期通期(2022年4月1日~2023年3月31日)連結業績につきましては、今後も需要は堅調に推移するものと見ており、前連結会計年度に対し売上・利益ともに大きく改善する見通しですが、為替動向を見定めることが難しい状況であることから、前回発表予想の見直しを行っておりません。

今後の動向がより明確に見通せるようになった段階で見直しを行い、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。